

第103回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第8日目 7月15日(木)

3回戦	石巻市民球場	2時間 56分	打安点盗犠四三残失併		
柴田	0 0 3	1 0 1	0 1 3	【柴】 39 14 7 2 4 10 5 17 1 1	
古川工業	2 0 0	0 0 0	0 0 0	【古】 33 10 2 1 3 4 11 11 4 0	
(球) 鶴田代志昭 (一) 菅原 久 (二) 山下大輔 (三) 佐藤 圭					
【柴】	谷木, 市川	—	舟山	▽本塁打	なし
【古】	小関, 佐々木俊	—	佐藤葵	▽三塁打	なし
▽暴投	小関(古)1		▽捕逸	なし	
				▽二塁打	舟山2, 村上 (柴) 佐藤雅2 (古)

【評】

柴田先発谷木、古川工業は小関の両エースで始まった試合は、投手戦になると思われたが、両校併せて24安打が飛び交う打撃戦となった。

古川工業は初回、1番佐々木俊が安打で出ると、2四死球の後、6番佐藤雅のレフト線を破る2塁打で幸先よく2点を先制する。追う柴田は3回、1番我妻が安打で出塁すると、3番舟山、4番村上の連続2塁打で同点、6番菅野の適時打で逆転した。その後も4回、6回、8回と追加点をあげて点差を広げ試合を決めた。

古川工業は2回に3連打し、本塁を突くも右翼手大和田の好返球で捕殺される他、要所で三振を喫し、流れをつかむことができなかった。

3回戦	石巻市民球場	1時間 34分	打安点盗犠四三残失併		
東北学院榴ヶ岡	0 2 5	0 3	0	【東】 24 7 5 1 1 5 8 5 0 2	
仙台工業	0 0 0	0 0	0	【仙】 14 2 0 2 1 5 3 5 3 0	
(球) 西山 充 (一) 山館浩樹 (二) 佐藤 圭 (三) 佐藤亮樹					
【東】	針生, 青田, 諸原	—	和野, 大谷	▽本塁打	なし
【仙】	國分, 米澤	—	米澤, 佐々木	▽三塁打	竹長(東), 伊東(東)
▽暴投	國分(仙)2, 米澤(仙)1, 諸原(東)1		▽捕逸	なし	(東)
				▽二塁打	なし (仙)

【評】

東北学院榴ヶ岡が10対0の5回コールドで圧勝した。東北学院榴ヶ岡は、2回に4番竹長の三塁打からチャンスを広げ、相手投手の暴投と捕逸で2点を先取、3回には安打と四死球、相手のミスを決めて5点を取り試合の主導権を握った。5回には2死からヒットと四球でチャンスを作ると、内野のエラーと2番伊藤のスリーベースで3点を取り、勝負を決めた。

仙台工業は学院榴ヶ岡の3人の投手に2安打と抑えられ、2回と4回のチャンスはいずれもダブルプレーで得点できなかった。

3回戦	鹿島台中央野球場	1時間 34分	打安点盗犠四三残失併		
仙台西	0 1 0	0 0 1	0 0 1	【仙】 30 8 3 0 4 2 4 6 0 1	
松島	0 0 0	0 0 0	0 0 0	【松】 31 6 0 0 0 0 6 4 0 0	
(球) 森山宏則 (一) 沼辺力也 (二) 太田博昭 (三) 遊佐敏彦					
【仙】	櫻井, 黒川	—	安川	▽本塁打	なし
【松】	三上	—	佐藤龍	▽三塁打	なし
▽暴投	三上1(松)		▽捕逸	なし	
				▽二塁打	山木, 長谷部 (仙) 佐藤龍 (松)

【評】

仙台西が3対0で松島を下した。仙台西は、2回表1死1塁から7番山木の右越え二塁打で先制すると、6回・9回にも追加点を挙げて松島を突き放した。投げては、先発櫻井と3回から継投した黒川が無四球で松島打線を零封した。

松島は、主戦の三上が9回を3失点に抑える好投をしたものの、打線がつながらず得点を奪えなかった。6回以降3度先頭打者が出塁したが、いずれも走者を進められなかったのが響いた。

3回戦	鹿島台中央野球場	2時間 8分	打安点盗犠四三残失併		
石巻商業	0 0 0	0 0 1	1 0 0	【商】 29 6 1 2 4 2 4 6 1 0	
石巻	0 0 0	0 0 0	1 0 0	【石】 29 5 1 0 2 3 3 6 2 0	
(球) 毛利 晃 (一) 岩倉淑浩 (二) 浅野卓也 (三) 佐藤拓哉					
【商】	阿部航	—	新田	▽本塁打	なし
【石】	木村	—	千葉	▽三塁打	村上(石)
▽暴投	なし		▽捕逸	なし	
				▽二塁打	なし (商) なし (石)

【評】

石巻市の伝統校同士の一戦は春に引き続き石巻商業が二対一で石巻を制した。石巻商業は、六回表先頭打者の九番村上(悠)が三塁打を放つと、続く一番木村が右前適時打を放ち先制点を奪った。七回表には相手の失策に乗じて加点し、投げては主戦の阿部(航)が石巻打線を散発五安打で抑えた。

石巻は主戦の木村が四死球少なく九回二失点と好投したが、打線がつながらず一得点で敗戦となってしまった。